

# 高退協ニュース

## 高教組書記局を 応援しましょう！

飯田清久

教文字を再び戦場に送るな！  
の旗のもと、平和と民主教育  
を守り発展させる運動をすす  
めてきた高教組、その役割は  
極めて大きいものがあります。  
しかし一方で組合員の減少等  
によって、組織面・財政面で  
高教組の書記局運営に困難も  
生じてきています。これらの  
状況をふまえ高退協事務局で  
はこれまで、「現退一致」の  
原則のもと高教組運動を支え  
励ます立場から、主に次のこ  
とに取り組んできました。

① 現退協議会(高教組委員  
長・書記長、高退協飯田・野  
村・小松・胡摩崎・米満)を  
月1回のペースで開催し意見  
交換と共同の取り組みを協議。  
② 2018年度から胡摩崎  
さんに書記業務の助っ人を依  
頼し書記局業務をサポート。  
③ 2019年度には野村幸  
司副会長を高教組特別執行委  
員として高教組運動の支援に  
あたるようお願いし、現職執  
行部支援の取り組みをすすめ  
てきました。

しかし今日まで高教組の財  
政の改善はすすまず、202  
0年度は専任の書記長を配置  
することが困難となり専任者  
不在で書記局を維持するとい  
う、極めて厳しい状況を迎え  
ます。これらのことは、高知  
県内では義務制の都市教組や  
他県教組でも見られる状況も  
あり、現退協議会でそれらを  
参考に今後の対応を検討して  
きました。そして、2020  
年度も引き続き野村幸司副会  
長、胡摩崎ゆう子さんの協力

を頼むことと合わせて  
平日昼間の時間帯に高退協会  
員を中心としたメンバーによ  
る書記局の留守番・実務補助  
等の業務を、可能な範囲で協  
力する方向で準備することと  
しました。細部は今後高教組  
執行部と協議していくことに  
なりますが、多くの高退協会  
員の方の協力をいただけると  
助かります。

困難な状況の現場で奮闘し  
ている高教組組合員を励まし  
支えるジョン・ママバの出番  
のようです。お構いの方は  
ご一報を！  
(担当 飯田・野村)

いつもことながら、制限時  
間を目指し、ペースメーカー  
の近くに陣取り走り出す。あ  
の8キロ過ぎあたりから、靴  
に翼が生え(じこまでも走り  
続けることができるのではな  
いか)と思われる不思議な感  
覚に陥るまで。ひたすらペー  
スメーカーの風船を目指して  
走る。

声援が耳に届く。手を振る  
ゆとりがまだまだある。ハイ  
タッチで自分を鼓舞する。  
「あれっ。れ、れ、れっ」い  
つも違う、何かが違う。気  
持ちは、(走れそう)なのに、  
靴に翼が生えてこない。給水  
所の水・トマト・バナナは、  
それなりに補給することが出  
来ている。調子は良。ペース  
メーカーも前を走る。もうす  
ぐ浦戸大橋。1浦戸大橋は、  
「歩く」が目標。後半への体  
力温存区域。雨にけぶる太平  
洋を目の前にゆっくりに歩

き。当日は、予想通りの雨、何  
事も初めてのことは緊張感の  
中にワクワク感有り。  
スタートの号砲。1万人の  
そのまた後方の後方に並ぶ私  
には、合図の音は、届かない  
が、周囲に合わせて拍手をし  
ている。この時の決心、1グ  
レーチングの上は走らない！

2017年から、エンターリー  
4回目の龍馬マラソン大会  
(一度は風邪でパス)。退職  
してから10km・ハーフ・フル  
と幾度かは走っていたが、大  
会当日が、「雨」となるのは  
初めての経験。制限時間7時  
間が、最大の魅力。目標は、  
健康づくりであるので「転ば  
ぬこと・途中棄権する勇氣」  
を信条に今回も、「ゆっくりに  
走ろう。楽しもう」と心に決  
めて当日に臨んだ。

### マラソンの応援に 行って来ました



「歩くと」が目標。後半への体  
力温存区域。雨にけぶる太平  
洋を目の前にゆっくりに歩  
き。当日は、予想通りの雨、何  
事も初めてのことは緊張感の  
中にワクワク感有り。  
スタートの号砲。1万人の  
そのまた後方の後方に並ぶ私  
には、合図の音は、届かない  
が、周囲に合わせて拍手をし  
ている。この時の決心、1グ  
レーチングの上は走らない！

### 雨天決行 完走しました 龍馬マラソン

別役 美佐

橋を降りれば、走りだす。左  
手に、太平洋。名前を呼ばれ  
て手を振り、はたまた、給水  
所で、母親運動の仲間から、  
水を受け取る。ここからが課  
題。25kmあたりから、気合を  
入れ、気持ちを入れ替えて走  
り出さないと後半までもたな  
い。闊門と大型バスが路肩に  
控えている。だが、今日は、  
手袋が冷たい。靴が重たい。  
(そうか)靴にワセリンを  
塗るとは、このことなのか。  
昨日のアドバイザーの意味が  
わかった。「何事も先達はあ  
らまほしきことなり」。耳が  
痛い。

さあ。あと17km。濡れた手  
袋をポケットに、腕には、昨  
夜用意した余分の一枚の貴頭  
衣を取りだし、腕に巻く。腕  
の保護効果大。いける。えっ！  
ペースメーカーがいない。そ  
の姿が見えない。給水所やエ  
イドには、止まらぬ彼ら。裏  
付けはないが、走れる。と、  
言い聞かせて、ゴールを目指  
す。同じスピードで走る若者  
から声をかけられる。「初め  
てのマラソンです」と。嬉し  
い、会話ができる自分がそこ  
に居る。「あと、10km。平  
地は走るだけ、坂は歩きます」

### 高知新聞2月17日の記事より

人形仲間(こ)に  
○高知市長浜の花海道で声援  
を送る田村昌子さん(74)  
の手に、手作りの3体の人形  
が揺れていた。「人形劇団の  
仲間が走りゆき、  
この子たちと一緒にサブ  
ライズ応援。またかなあ。  
きつと書いちゃうよ」  
「がんばって」。田  
村さんの声と優しい表情  
の人形に、ランナーも和  
んで手を振る。しかし、  
人形劇仲間を見送ってし  
まったようだが、田村さん  
は残念がりがながらも、  
「無差別応援や。ぬれた  
けど良かったわえ。みんな  
喜んでくれようよ」。



### なんでもえい エイ汗をかいてよ

完走タオルと完走メダル  
記録 6時間35分7秒



哀悼  
西原 道雄 さん  
2019年12月31日  
寺村 芳 さん  
2020年1月20日  
謹んで「冥福を  
お祈り申し上げます。」